

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 飯山市立常盤小学校

① 学習指導案

プログラム	No.10 「 校歌の景色を見つめてみよう 」
単元名 (全7時間)	総合的な学習の時間 「残そう、伝えよう、常盤の宝」
学習のねらい	残されている自然の美しさや、地域の特徴的な風景などに気づき、自分たちのふるさとの素晴らしさを知り、他者に分かりやすく伝えることができる。
学習内容	1 校歌を読みとき、千曲川や長峰丘陵、高社山、田んぼ、撫子の花など校歌に出てくる風景を写真におさめる。 2 それぞれの風景のよさや気づいたことなどを文章で表す。 3 地域のよさや課題を、他の小学校の友だちに分かりやすく伝える。
参考資料 準備品 実施場所等	・児童は、デジタルカメラもしくはタブレットを利用して写真撮影を行う。 ・地域を探検しながら、校歌に歌われている風景を撮影していく。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
課題設定 2H	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を読みとき、校歌に歌われているものが何か、どんなよさがあるのかをたしかめる。 美しさを伝えるために、どこから撮影をするのがよいかを考える。 写真を撮る。 	<p>「校歌に歌われている常盤の宝を写真におさめて、残していく。」</p> <p>・古語など、難しい表現について、読みときの支援をする。</p> <p>「美しさを伝えるために最高のアングルを考えよう。」</p> <p>・安全に留意して撮影を行う。</p>	活動の関心・意欲 課題設定能力 表現力（写真）
写真撮影 2H	<ul style="list-style-type: none"> 地域の美しさを伝えるための写真を選ぶ。 グループで相談して、風景のよさを分かりやすく伝えるための文章を書き、スライドにまとめる。 	<p>「常盤のことを知らない人にも伝わるように、書き方を工夫しよう。」</p>	表現力（文章）
まとめ情報発信 3H	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふれあいサロンで、地域のお年寄りの方々に地域のよさを伝え、話をする。 		コミュニケーション力

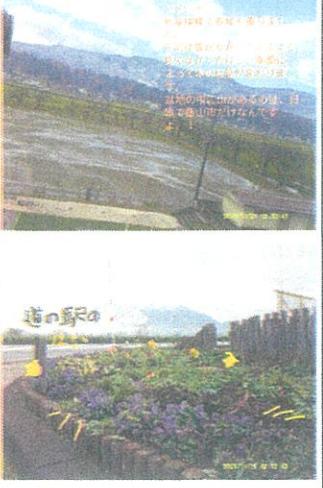
<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名

常盤小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を読みとき、校歌に歌われているものが何か、どのようなよさがあるのかをグループで考えた。 古語の難しい表現について、インターネットや辞書を使いながら、読み解いていった。 		<ul style="list-style-type: none"> 古語が多く使われている歌詞のため、今まで意味が分からなかった子が多くいた。改めて、地域のよさを確認し、写真におさめたいと意欲をもつことができた。
1		<ul style="list-style-type: none"> 地域のすばらしい風景を伝えるために、どこから撮影するのがよいかを考えた。 		<ul style="list-style-type: none"> 登下校中などにも風景に目を向け、よりよいアングルをさがしていた。
3	地域	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に乗って地域をめぐり、校歌にまつわるすばらしい風景を撮影した。 千曲川、堤防、道の駅明徳寺、信濃平駅など 	    	<ul style="list-style-type: none"> 「今まで何となく見ていた」「今日の高社山は、一段ときれいだ」と、地域のすばらしい風景を新たに発見して嬉しそうな様子だった。 「常盤はどこも、きれいな風景ばかりだ」と地域のよさに改めて気づいていた。 「桜並木や道の駅「花の駅」を見た際には、「地域の人たちが作った風景もある」と景観を作ったり、守ったりすることに意識を向ける子もいた。

2	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに相談しながら、地域のふれあいサロンの方々に、風景のすばらしさを伝えるための写真を選んだ。 ・風景のすばらしさを分かりやすく伝えるために、スライドにまとめた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・それまでにふるさと学習で学んできたことや校歌の歌詞について話しながら、地域の方に何を伝えたら楽しんでもらえるかを考えていた。 ・お年寄りの方々に、分かりやすく伝えるためにはどうすればよいかを考え、フォントや色使いなどを工夫して、スライドにまとめることができた。
1	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のふれあいサロンの方々に地域のよきを、スライドを使って伝えた。 ・ふれあいサロンの方々と一緒に、校歌を歌った。 ・地域の景観や今と昔の違いについて、ふれあいサロンの方々と話をした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの方にも伝わりやすいようにと、声の大きさや話す速さを工夫しながら、発表をすることができた。 ・地域の方から、常盤のすばらしい風景や昔の常盤の様子について、話を聞かせてもらいい「昔も今も、変わらないきれいな景色があるんだ」「昔の常盤小は、今と全然違うんだね」と、様々なことに気づいていた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・閉校を1年後に控えている小学校だったので、「常盤のよさやすばらしい風景を残していく」 という意識をもつことができるよう工夫して学習をスタートした。子どもたちは「常盤のよさをたくさん写真におさめたい」「常盤のよさを誰かに伝えたい」と意欲的に学習活動に向かうことができた。
- ・常盤小学校の研究テーマとして、発信することを大切にしている。目的意識と相手意識をもって発信することができるよう、ふれあいサロンでの発表を目標にして学習を進めていった。子どもたちは、「地域の方に、学習したことを分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか」と試行錯誤しながら、活動をすることができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・写真撮影のための地域探検を、自転車を使用して行った。実際に現地に行って写真撮影をすることで、普段何気なく見ている風景のすばらしさに気づくことができた反面、担任一人で児童の安全を確保することに苦労した。
- ・補助金が出るまではカメラを購入することができなかつたこともあり、本格的な学習のスタートが2学期になってしまった。1年を通して景観について学習をすることで、季節による景観の変化や地域のよさをより感じることができたように思う。

(3) 児童の反応

- ・補助金で購入したカメラがあったことで、自分たちの力で写真を撮影したり、編集したりすることができるようになった。子どもたちは意欲的に地域に出て、写真を撮影することができた。
- ・校歌を読みとき、繰り返し地域の写真を撮影する中で、普段何気なく過ごしていると気づかない地域の景観のすばらしさに気づくことができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・子どもたちと景観学習を進める中で、地域の特徴やよさを改めて知ることができた。
- ・実際に地域に出て子どもたちといきいきと活動をすることの大切さを再認識することができた。
- ・景観は、地域の自然環境や歴史、産業など、様々な要素が重なり合って作られていくものだということを実感し、景観の見方が変わった。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

- ・年度末をもって、常盤小学校は閉校する。常盤のよさやすばらしい風景を、新しくできる統合小学校で発信することができるよう、学習をつないでいくことができるようにしたい。